

【様式】

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立杉の子特別支援学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿	一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校
(2) 育みたい資質・能力 (育みたい児童生徒の姿) ありたい教職員の姿	○自立と社会参画をめざし、主体的に取り組む子ども ○自己肯定感と他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども
	○多様化、複雑化する社会に対応し、学び続ける姿勢を持った教職員 ○豊かな人権感覚を持ち、子どもの成長を保護者と喜び合える教職員 ○知的障がい教育および肢体不自由教育における高い専門性を有する教職員 ○計画的で柔軟かつ組織的な対応ができ、教育・福祉・医療等関係機関と連携した教育活動に取り組める教職員 ○教育公務員としての責務を自覚し、自らを律することができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><児童生徒> 様々な体験的な学習や自分自身が活躍できる経験を通して、将来、自分らしく豊かに生活するために必要な力を、楽しく身に付けたいと望んでいる。</p> <p><保護者> 安全安心な学習環境の維持と児童生徒一人ひとりの特性に応じた教育の充実、卒業後の進路実現を期待する声が多い。</p> <p><地域・関係機関> 鈴鹿亀山地域の特別支援学校として、地域の特別支援教育の推進に向けたセンター的機能を充実させてほしい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者> 安全安心な学校運営と自立活動の充実、知的障がい教育の小中高の連続性を維持してほしい。</p> <p><地域の学校> 特別支援教育に係る情報提供や交流教育を進めてほしい。</p> <p><地域の関係機関(企業・福祉施設等)> 連携・協力するための情報提供をしてほしい。</p> <p><地域社会> 共生社会の実現に向けて、ともに活動できる機会を提供してほしい。</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者> 規則正しい子どもの生活と子どもの心に寄り添う子育てに協力してほしい。</p> <p><地域の学校> 進学に係る情報提供や交流及び共同学習の受入と充実に協力してほしい。</p> <p><地域の関係機関(企業・福祉施設等)> 学校の教育活動を理解し、卒業後を見据えた連携を継続してほしい。</p> <p><地域社会> 学校の教育活動を理解し、児童生徒が活躍できる場を提供してほしい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育において、地域からの意見を工夫して取り入れる必要がある。 ・避難訓練などの取組が子どもたちの力になっている。 ・人権教育カリキュラムに基づき、人権教育を進めてほしい。 ・センター的機能を活用して、早期からのキャリア教育を含めた特別支援教育の重要性を発信していく必要がある。 ・地区回覧板を活用するなど、学校の情報発信の工夫が必要である。 ・児童生徒への接し方について、定期的に教職員が振り返っているところが良い。引き続き、子どもたち中心の教育活動を行ってほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に則した教育課程並びに年間計画を策定した。これに基づき、教科学習や自立活動を充実させる必要がある。 ・学校体制が変わるなか、これまで以上に系統的なキャリア教育の推進が求められている。地域との連携を強化し、学びの場を広げ、児童生徒のキャリア発達を促進したい。 ・児童生徒の発達段階に応じた人権教育カリキュラムを作成した。これらに基づいた人権教育を推進し、自ら周囲の者に相談する力や人権を守るための実践行動をとれるよう、命を大切にす教育を一層推進する。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制や家庭支援を充実させ、児童生徒保護者の思いに寄り添い、安全安心な学校づくりに取り組む。 ・スクールボランティアの充実や地域とのつながりの強化により、地域と協働した学校づくりを推進する。 ・児童生徒の増加に伴う教室やスクールバスの確保、給食施設等の整備が急務である。 ・管理職がリーダーシップを発揮し、ワークシェアの推進、組織全体での応援体制が取れるよう仕組みづくりに取り組む。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導要領に則した授業 <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に則した教育課程に基づく授業実践に取り組み、教科学習を充実させる。 2 キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じ、地域と関わる学習や作業学習、実習や職業体験学習を通して自己肯定感を高め、キャリア発達を促進させる。 3 命を大切にす教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育カリキュラムに基づいた人権教育を推進し、自己肯定感を育む教育と児童生徒のつながりを確かなものにする仲間づくりに取り組むとともに、知識的側面を強化した人権学習や葛藤のある人権学習を通して、実践行動力を育成する。 ・いじめを未然に防止するための児童生徒の主体的な活動の充実に取り組む。 ・発達段階に応じた性に関する指導、保健栄養指導の充実に取り組む
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 4 信頼される学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制と家庭支援を強化し、児童生徒保護者の思いに寄り添った指導に取り組む。 ・教職員の研修の機会を保障し、教職員の専門性の向上をめざす。 ・「信頼される学校であるための行動計画」に基づき、年間を通じたコンプライアンス研修、風通しの良い職場づくりに取組み、不祥事を根絶する。 5 安全安心な学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・バス運行会社と連携し、安全なスクールバス運行に取り組むとともに、自主通学生の通学路点検を実施し、児童生徒の登下校の安全の確保に取り組む。 ・児童生徒の人間関係をていねいに見つめ、いじめの認知に努めるとともに、いじめに対して迅速かつ組織的に対応する。 ・医療的ケアを充実させ、医療的ケア児が安全安心な学校生活を送れるよう取り組む。 ・給食数増加と食形態の複雑化に対応した安全安心な給食の提供に取り組む。 ・災害備蓄品の整備や災害本部設置訓練、保護者引渡し訓練に取り組む、災害対策を充実させるとともに、危機管理マニュアルの整備・更新を行う。 6 センターの機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・本校・分校コーディネーターによるチーム支援や夏季公開講座等に取り組む、地域の特別支援教育を推進する。 ・教育相談、就学支援委員会等の機会における情報収集と関係機関と連携した支援体制の構築に取り組む。 7 地域協働の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の行事や地域の人権フェスティバル等に参加し、地域啓発に取り組む。 ・進路渉外担当を中心とした地域との連携を促進し、学校課題の洗い出しに取り組む。

	<p>(3) 進路実現に向けて、保護者と連携した取組を推進する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象進路説明会を実施する。 ・進路だよりによる情報発信 年3回以上 ・キャリア教育プログラムの保護者理解を促進する <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートで「学校は児童生徒の進路実現に向けて保護者と連携して取り組んでいる」80%以上 		
3 命を大切に する教育の 充実	<p>(1) 児童生徒の発達段階に応じた主体的実践力を育む人権学習に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育カリキュラムに基づく授業実践 年3回 ・人権教育だよりを年3回発行 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートにおいて、「児童生徒の段階に応じた人権教育の取組ができたか」80%以上 <p>(2) いじめや暴力を許さない態度を養う指導を充実させる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒会によるいじめを許さない取組 年2回 <p>(3) 発達段階に応じた性に関する指導、保健栄養指導を充実させる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も他者も大切にする性に関する指導実施 年1回 ・自ら健康を維持増進する態度を養う保健栄養指導実施 年1回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで、「児童生徒の日常生活に変化が見られた」60%以上 ・児童生徒アンケートで、「健康について楽しく学べた」80%以上 		◎
改善課題 (年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
----	---------	----	----

<p>4 信頼される学校づくり</p>	<p>(1) 家庭相談の機能を強化し、迅速な対応に取り組む。 【活動指標】 ・校内支援会議を開催し、組織的に対応する。 ・外部関係者会議を開催し、支援体制強化に取り組む。 【成果指標】 ・保護者アンケートで、 「学校は問題に対して迅速に対応している」80%以上 「学校は相談しやすい雰囲気がある」80%以上</p> <p>(2) 教職員の専門性の向上に取り組む。 【活動指標】 ・セラピストによる校内支援に取り組む。 【成果指標】 ・校内研修後の教職員アンケートで「校内研修で学んだことを日々の実践に活かすことができた」80%以上 ・個人研修（校外）年2講座以上の達成率100%</p> <p>(3) 教職員のコンプライアンス意識の向上に取り組む。 【活動指標】 ・不祥事防止研修プログラムの実施 年14回 ・コンプライアンスミーティングの実施 年3回 【成果指標】 ・杉の子特別支援学校における不祥事0回 ・研修満足度 80%以上</p>		◎
<p>5 安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) 登下校の安全安心の確保に取り組む。 【活動指標】 ・スクールバス委員会による教職員、添乗員、運転手の連携強化 ・令和7年度のスクールバス運行計画の整備 【成果指標】 ・下車後のスクールバスの児童生徒降ろし忘れ0件</p> <p>(2) いじめに対する迅速かつ組織的な対応を行い、いじめの早期解消に取り組む。 【活動指標】 ・いじめアンケートを年3回実施する。 ・いじめが疑われる場合は、迅速かつ組織的に対応 【成果指標】 ・いじめ重大事態0回</p> <p>(3) 安全安心な給食の提供に取り組む。 【活動指標】 ・給食献立委員会による給食調理業者との連携 必要に応じて 【成果指標】 ・給食への異物混入、食物アレルギー関連事故 0件 ・食形態の多様化、給食数の増加への対応策完了</p>		

	<p>(4) 危機管理体制を充実させる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練の実施 年1回 ・救命救急法講習会の実施 年1回 ・アレルギー対応訓練の実施 必要に応じて ・てんかん発作時の対応訓練（添乗員）を実施 年1回 ・医療的ケア児の緊急対応訓練の実施 一人につき年1回以上 ・児童生徒失踪対応訓練の実施 年1回 ・スクールバス児童生徒引渡し訓練の実施 年2回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練結果を令和7年度危機管理マニュアルに反映 ・教職員アンケートにおいて、 「不審者対応の仕方がよく分かった」80%以上 「救命救急についての理解が深まった」80%以上 		◎
6 センターの機能の充実	<p>(1) 本校・分校特別支援教育コーディネーターによるチーム支援を強化する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の校・園の教育相談の充実 ・かがやき特別支援学校と連携した地域支援の充実 <p>(2) 地域の特別支援教育の推進を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季公開講座の開催 年1回 ・教職員体験研修の開催 年2回 ・オンライン相談会の開催 年3回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季公開講座の参加者アンケートにおいて、「特別支援教育の理解が進んだ」80%以上 ・教職員体験研修の参加者アンケートにおいて、「特別支援教育の理解が進んだ」80%以上 ・オンライン相談会の参加者アンケートにおいて、「特別支援教育の理解が進んだ」80%以上 		
7 地域協働の取組	<p>(1) 地域活動に参加し、特別支援教育の理解啓発を促進する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬくたいフェスタへのポスター参加 <p>(2) 地域協働活動を推進し、学校活動を充実させる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールボランティアによる地域協働活動 年5回 (プール設置・解体、学習発表会舞台設置・解体、校外学習) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートにおいて、「また機会があれば積極的に参加したい」もしくは「また参加してもよい」80%以上 <p>(3) 保護者・地域への情報発信により、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>【活動指標】</p>		◎

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの発行 年3回 ・ホームページの更新 月1回以上 ・授業参観の実施 年3回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新メール配信システムの導入完了 ・授業参観後の保護者アンケートにおいて、「学校での学習の様子がよくわかった」80%以上 		
8 働きやすい職場づくり	<p>(1) 年間を通じて職場環境や業務についての意見を反映し、風通しの良い職場づくり、働きやすい環境づくりに取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフサイトミーティングの開催 年1回 ・教職員満足度調査の実施 年1回 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートにおいて、 「校務へのやりがい、楽しみを感じている」80%以上 「働きやすい環境づくりが進んでいる」80%以上 <p>(2) 学校安全衛生委員会による安全安心な職場環境づくりに取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全衛生委員会の開催 月1回（年12回） ・衛生管理者による職場巡視 週1回（年48回） ・産業医による職場巡視 2月に1回（年6回） <p>(3) 会議の効率化と定時対校日の確実な実施に向けて取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時対校日の設定 月1日 ・設定した日の定時退校できた割合 90%以上 ・ノー会議デーの実施 年25回 ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 90%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間が年360時間を超えるのべ職員数0人 ・時間外在校等時間が月45時間を超えるのべ職員数0人 ・時間外在校等時間 月平均30時間以下 ・年次休暇取得日数 平均12日以上 		
改善課題			
（年度末に記載）			

5 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	（年度末に記載）
--------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)